

9678

あれこれレンタル!

kanamoto

www.kanamoto.co.jp

kanamoto ■ カナモトエグザミネー examiner

株主の皆様ならびに投資家の皆様へ

カナモトは
ヒーローはお貸しできませんが、
ヒーローになるための
お手伝いをしています。



kanamoto 株式会社 **カナモト**

(東証一部・札幌 証券コード9678)

〒060-0041 札幌市中央区大通東3丁目1番地19

Tel: (011) 209-1600 (大代表)

www.kanamoto.co.jp

vol.57
第47期(2011年10月期)第3四半期号

TOPICS

凡例

- IR関係
- 事業関係
- イベント

3Q

2011.5

- 🎉 サンクスフェア2011 北見(5/14、15)を皮切りにスタート 📷
- 🎉 サンクスフェア in 苫小牧を開催

2011.6

- IR 東日本大震災の被災による特別損失の発生ならびに平成23年10月期第2四半期業績予想の修正について発表
- IR 第47期(2011年10月期)第2四半期決算発表
- IR 【東京】第47期第2四半期決算説明会を実施
- 🎉 サンクスフェア in 静内を開催 📷
- IR ラジオNIKKEIの投資家向け番組「夕焼けマーケット 投資って楽しいねっ!」に出演

2011.7

- 🎉 サンクスフェア in 釧路を開催
- 🎉 サンクスフェア in 函館を開催
- 🏆 長嶋茂雄INVITATIONAL セガサミーカップゴルフーナメントに協賛
- 🏆 道新・UHB花火大会に協賛
- IR 確定拠出年金制度の導入について発表



4Q

2011.8

- IR 日経IRフェア2011 STOCKWORLDに出展 📷

毎年恒例となっている夏のIRイベント「日経IRフェア」(於東京ビッグサイト)に今年も出展しました。8月26日、27日の開催2日間の来場者数は延べ13,780名。当社ブースにも大勢の方々にお越しいただき、当社の業績や今後の展望などについてご説明いたしました。

- 🔄 連結子会社の吸収合併について発表

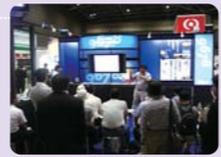
当社は100%子会社である株式会社エスアールジー・カナモトを、吸収合併することを決議しました。当社のレンタル事業部(北海道地区)内に、仮設足場材のレンタルを取り扱う「仮設部」を新たに設け、エスアールジー・カナモトの仮設足場材レンタル事業を継承します。

2011.9

- IR 特別利益の発生及び平成23年10月期業績予想の修正について発表
- IR 第47期第3四半期決算発表
- 🎉 サンクスフェア in 旭川を開催 📷
- IR ラジオNIKKEIの投資家向け番組「夕焼けマーケット 投資って楽しいねっ!」に出演
- 🏆 気仙沼営業所(宮城県気仙沼市)を開所

2011.10

- IR ラジオNIKKEI 札幌IRセミナーに参加




カナモトサンクスフェア2011が無事に閉幕しました

Pickup!

東日本大震災の影響で延期を余儀なくされた「カナモトサンクスフェア2011」は、皆様のご支援を賜り北海道の6拠点で開催、無事に閉幕することができました。

当期の最後を飾ったのは9月10日・11日開催のサンクスフェア in 旭川。建機メーカー各社のブース、ミニ建機や仮設ユニットハウス即売会のほか、「祭り」に欠かせない焼きそばや綿あめなどの屋台、フワフワ遊具や高所作業車の試乗体験といったアミューズメントも充実し、写真のとおり多くのお客様で賑わいました。

来年もお楽しみいただけるようさまざまな企画をご用意して、皆様のご来場を心よりお待ちしております。📷



大勢の方に喜んでいただいた高所作業車の試乗体験 爽やかな秋晴れに恵まれたサンクスフェア in 旭川

東日本大震災の対応③——東北での新展開

一日も早い復興復旧に向けて、引き続き支援活動に尽力してまいります。

未曾有の大災害から半年以上が経過しました。被災地ではいまだ苦境が続いていますが、現地でご活躍の皆様ならびに支援活動をされている皆様のご尽力によって着実に復興に向かっていくものと確信しています。当社も皆様の一助となるよう、後述のとおり東北に新拠点を展開するなど支援体制の強化に努めております。

体制強化に向けて「気仙沼営業所」を新設

既報のとおり、当社は宮城県気仙沼市に「気仙沼営業所」を新設いたしました。甚大な被害を受けた気仙沼および南三陸エリアで、拡大する復興復旧工事の需要に対応するものです。

また、同地の南85kmに石巻営業所、北50kmに大船渡営業所があることから営業所間の資産物流が効率化し、3営業所それぞれの資産稼働率が向上する効果も得られるものと考えております。

気仙沼営業所 10月1日オープン

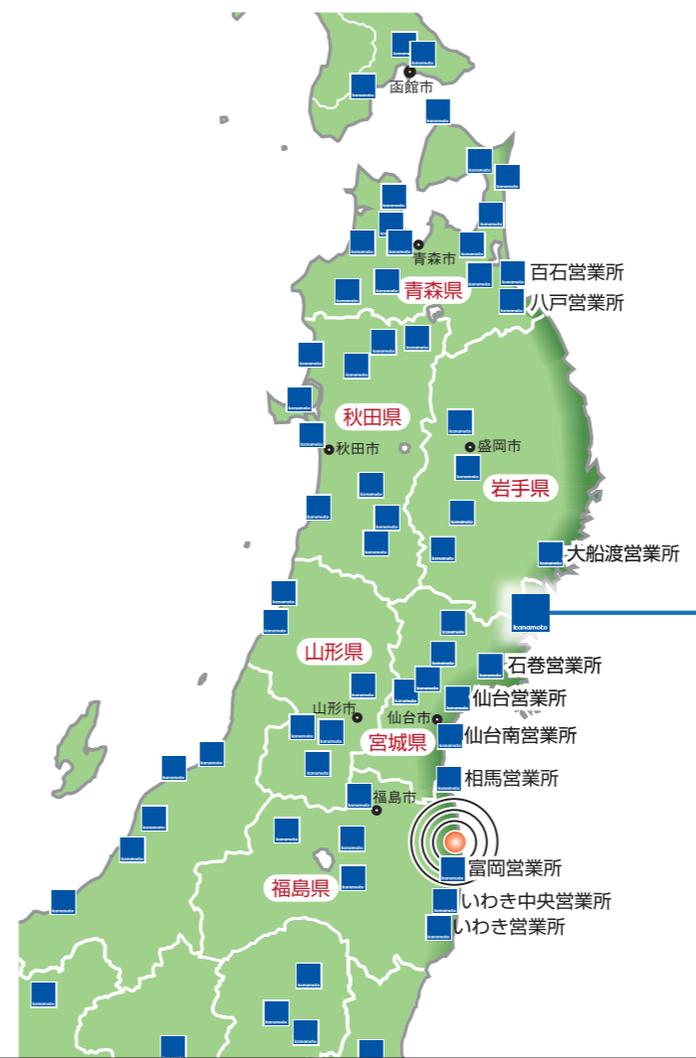


住所：宮城県気仙沼市長磯原3-1
電話：0226-26-1788
FAX：0226-27-3936



岩手県にも2拠点を新設予定

さらに、当社は岩手県内の宮古市と釜石市に営業所を新設する準備を進めています。今後も被害の大きかった東北三県の復興復旧工事に努めてまいりますので、引き続き応援をよろしくお願いいたします。📷



Feature : レンタルの使命

レンタルの特徴とメリット——リースとの違いは？

リースには、「ファイナンス・リース」「オペレーティング・リース」という2つの形態があり、モノを買う資金をリース会社を通じて調達して、中長期間にわたってリース料という形で返済する方式のもの。これに対して、レンタルとはユーザーの目的に応じたモノを、必要な期間だけ「日単位」で借りるシステムのことです。リースにくらべて、レンタルなら台数を増やしたり減らしたり、大きさを変更したりと融通が利くので「ユーザー本位のサービス」といえるでしょう。

ちなみに、大型クレーン車など特殊な免許が必要なものについては、オペレータ付きの「チャーター」が一般的です。

レンタルを利用するメリットとは？

レンタルは「必要なモノを」「必要な時に」「必要な数だけ」確保できるサービス。ユーザーにとってさまざまなメリットがあります。

- 1 建機の購入代金などの設備投資費用を、最大限に軽減できる
- 2 先進機能を搭載した機種を、いつでも調達・使用できる
- 3 建機の保管場所を確保する費用・手間ともに一切不要
- 4 建機の維持管理などのメンテナンス費用は貸主（レンタル会社）が一切を負担（オイル・消耗品は除く）
- 5 毎月の減価償却や固定資産税・保険料などの費用発生にともなう煩雑な経理処理が不要

■レンタルとリース、チャーターの特徴

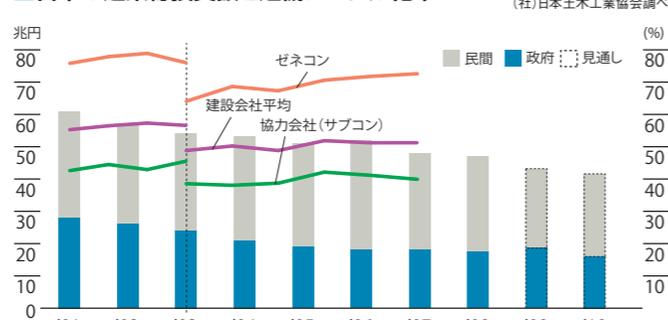
	リース	レンタル	チャーター
契約期間	長期(主に年単位)	短期(日単位)	短期(時間単位)
貸出対象	特定の借主	不特定多数	不特定多数
メンテナンス費用	借主側の負担(原則)	貸主側の負担	貸主側の負担
貸出側の在庫	不要	大量の在庫を用意	ごく少数でも可能
オペレータの有無	なし	なし	あり(付き)
主な取扱商品	電話、コピー機、パソコン、パソコン周辺機器、医療機器、介護用品、自動車、建設機械、工作機械、航空機、タンカー etc.	DVD、CD、什器備品、パソコン、パソコン周辺機器、医療機器、介護用品、自動車、建設機械、工作機械、仮設機材、土地・建物 etc.	飛行機、バス、ビル工事用大型クレーン、クレーン車 etc.

建設会社の機材調達部門を担うレンタル会社

日本では近年の建設総投資の減少にともない、建機のレンタル化が一段と進んでいます。それは日本土木工業協会の統計を見ても明らかで、最後に調査された2007年時の国内の建機レンタル化率は約50%。ただしこの統計はレンタル化率の高い機種が対象外となっているため、実際はさらに高水準という状況です。建設現場で使われる建機の2台に1台以上がレンタル機という現状を考えれば、日本の建設事業において建機レンタル業界がいかに大きな役割を担っているかが改めて認識されます。

だからこそ、レンタル会社は建設会社の機材調達部門としての機能を発揮することが求められているのです。カナモトは建機レンタルのリーディングカンパニーとして、建設会社、ひいては社会の皆様のご期待に応えるべく、これからも最善を尽くしてまいります。

■日本の建築総投資額と建機レンタル化率



カナモトグループの主力事業である「建機レンタル」、その利点や役割について、改めて皆様にご紹介いたします。

“高水準”を維持するカナモトのレンタル資産

当社グループは、日本国内の建設会社に“気持ち良く”ご利用いただくため、日々建機の安全管理、機能維持のための整備を行っています。この徹底した整備が、中古売却する際の資産価値を高めてもいます。そしてそれ以前に、当社の建機の売却価格を一層高めているのは、全世界で通用する建機を選定していることです。その選定基準は、国内での部品供給ライン、整備工場ネットワークが確立されていることはもちろん、海外でも同様の体制が整っていること。当社が日本の主要な建機メーカーを選定しているのは、これらの条件を満たしているためです。



仮設ユニットハウス



タイヤショベル



高所作業車



可搬型発電機



マカダムローラー



アイドリングストップ型油圧ショベル



ハイブリッドトラック

当社グループでは、日本国内で約40万点、導入時価額で1,500億円超の建機を運用しています。



第47期第3四半期決算の概況 〔平成22(2010)年11月1日から平成23(2011)年7月31日まで〕

●連結経営成績(累計)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	四半期(当期)純利益 (百万円)	EPS (円)
47期第3四半期	51,779(△2.7)	1,985(△31.2)	1,525(△37.9)	69(△93.7)	2.11
46期第3四半期	53,191(12.6)	2,884(—)	2,457(—)	1,105(—)	33.68

●通期(2011年10月期)連結業績予想

今回修正予想 (2011年9月2日発表)	69,590(△0.8)	2,310(△12.8)	1,640(△21.3)	720(△30.9)	21.93
前回発表予想数値 (2011年6月8日)	67,160(△4.3)	1,440(△45.6)	700(△66.4)	210(△79.8)	6.40

(注1)売上高、営業利益、経常利益、四半期(当期)純利益における括弧内の数字は、対前年同四半期増減率(%)を示しております。
(注2)2011年6月8日付発表の第47期通期の業績予想について、2011年9月2日に修正を発表しました。

【経営環境】

当社グループの第3四半期の日本経済は、東日本大震災に伴う下押し圧力も薄れ、最悪期から回復基調へと徐々に移行いたしました。サプライチェーンが回復し、中国向け輸出等が牽引役となり、二期連続の貿易黒字と回復してきてはいるものの、欧米の財政懸念から円高の進行が止まらず、企業の景

【第3四半期の累計連結業績】

当社グループでは、シェアの高い地域において震災、豪雨災害等の復旧工事が発生し、特に、東北、関東の両地域では、油圧ショベルのほかダンプ・トラック、発電機などを中心に建機レンタル需要が増加、需給バランスの改善からレンタル単価も是正傾向が見られるなど事業環境は好転しました。

一方、被災地復興のための公共事業予算が優先されたため、他の地域においては予算削減の傾向があり、また後退する景況感から民間設備投資も減速したため、被災地以外の建機レンタル需要は伸び悩みました。特に、仮設足場材やシールド関連機器などの特殊建機のレンタルを行う連結対象子会社は、震災に伴う環境変化による需要減少に抗えませんでした。当社では、震災発生直後から震災復旧工事のため建設機械の地域間移動を行うなど迅速な対応を進めたほか、レンタル用資産の通常の維持更新投資に加え、震災対応用として新

況感に暗い影を落としました。

また、地方経済においては原発事故の風評被害で観光分野の落ち込み、節約志向の高まりによる個人消費の低迷、さらには国、地方自治体の予算規模縮小を背景に公共事業の減少傾向が続いているなど、総じて悪化傾向にありました。

たに資産の増強を図るなど収益機会の拡大に努めました。しかしながら、一方で復旧需要に迅速に対応するための資産確保から中古機売却を順延していることも要因となり、売上高は前年同期比を僅かながら下回る517億79百万円(前年同四半期比2.7%減)でありました。

利益面は、前述した中古建機売却順延による収益減少と追加した設備投資の減価償却負担増などの影響から、営業利益は19億85百万円(同31.2%減)、経常利益は15億25百万円(同37.9%減)でありました。四半期純利益は、震災罹災額の損失計上を第3四半期だけでは穴埋めでせず、69百万円(同93.7%減)でありました。

セグメントの業績は次項のとおりです(なお、当期から決算短信記載基準の変更に合わせて、一部記載方法を変更しております)。

【事業種類別セグメントの業績】

建設関連事業

国内の建機レンタル需要は、国、地方自治体の予算規模縮小を背景に全体としては公共事業の減少傾向が続いており、震災地域以外では厳しい状況が続きました。ただ、震災需要以外に、計画停電など電力供給量の逼迫懸念から建設業以外の産業での発電機の需要が高まったこと、また、各地で発生した豪雨災害による喫緊の復旧工事があったことなどから、同事業分野における当社グループの第3四半期は一部を除き各地で伸長し、累計のレンタル売上高は対前年同期比1.4%増となりました。

地域別の第3四半期までのレンタル売上高は、北海道地区は第3四半期に入り順伸し、対前年同期比17.3%減にまで改善されました。一方、東北地区は震災復旧工事に新潟・福島を豪雨災害復旧工事も加わり同21.8%増、関東地区は特殊建機が低迷したものの復旧・電源関係需要が伸長して同10.3%増、近畿中部地区は引き続き民間設備投資に牽引され同3.8%増、九州沖縄地区は豪雨災害需要により同8.8%増でありました。また、同事業分野における販売売上高は、海外向け中古建機

【特記すべき事業展開と拠点新設・閉鎖の状況】

当社の当第3四半期における国内拠点の新設閉鎖は、近隣拠点との営業エリアの重複から、矢板出張所(栃木県さくら市)、村上出張所(新潟県村上市)、南陽営業所(山形県南陽市)の3カ所を7月31日付で閉鎖いたしました。また、新設はありませんでした。

通期業績予想の修正理由

当期の業績は、東日本大震災の復旧・復興に伴う建設機械のレンタル需要が想定よりも堅調に推移していることにより、売上高、営業利益、経常利益ともに前回予想を大きく上回る見込みとなりました。

また、当期純利益につきましては、退職給付制度の変更に伴う引当金取崩し発生益の特別利益計上を予定していることなどにより、前記の予想数値となる見込みであります。

売却順延による減収分を国内向け販売が穴埋めし前年同期と変わらない結果となりました。

一方、海外につきましては、上海金和源グループは、拠点展開効果が表れ同29.5%減まで改善、前年の上海万博特需のあった前期に、徐々に近づきつつあります。

これらの結果、建設関連事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は471億39百万円、営業利益は16億79百万円となりました。

その他

北海道で展開する鉄鋼製品販売事業については、新年度に入り道内需要は一服したものの、対前年同期比17.3%増でありました。一方、情報通信関連事業は同17.8%増、技術者特定派遣事業ほかは同15.9%増と、二桁の伸びを示しました。以上の結果、その他の事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は46億40百万円、営業利益は1億15百万円となりました。

なお、第3四半期以降の事象ではありますが、8月30日付で発表しましたとおり、連結子会社である株式会社エスアールジー・カナモトを、本年11月1日をもって吸収合併する旨、事務手続きを進行しております。この吸収合併に係る費用は、平成23年10月期通期決算の業績予想に織り込み済みであります。

■ 連結財務諸表

連結損益計算書

(単位:百万円)	第46期第3四半期 (2009.11.1~2010.7.31)	第47期第3四半期 (2010.11.1~2011.7.31)
① 売上高	53,191	51,779
売上原価	37,096	36,697
売上総利益	16,094	15,081
販売費及び一般管理費	13,209	13,096
② 営業利益	2,884	1,985
営業外収益	313	263
営業外費用	741	723
③ 経常利益	2,457	1,525
特別利益	296	56
特別損失	222	966
税金等調整前四半期純利益	2,531	615
法人税、住民税及び事業税	1,317	536
法人税等調整額	86	22
少数株主損益調整前四半期純利益	-	56
少数株主利益又は少数株主損失(△)	21	△12
④ 四半期純利益	1,105	69

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)	第46期第3四半期 (2009.11.1~2010.7.31)	第47期第3四半期 (2010.11.1~2011.7.31)
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,526	5,723
投資活動によるキャッシュ・フロー	227	△769
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,334	△4,640
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	△0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	5,420	312
現金及び現金同等物の期首残高	14,086	20,751
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	185	-
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	50	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	19,742	21,063

Point

震災、豪雨災害等の復旧工事が発生したものの、被災地復興のための公共事業予算が優先されたため、被災地以外の建機レンタル需要は伸び悩み、また復興需要に迅速に対応するための資産確保から中古建機売却を順延していることなどから、売上高は前年同四半期比2.7%減でした。利益面については前述の中古建機売却順延による収益減少、追加した設備投資の減価償却負担増などから、営業利益は同31.2%減、経常利益は同37.9%減でした。

連結貸借対照表

(単位:百万円)	第46期第3四半期末 (2010.7.31)	第47期第3四半期末 (2011.7.31)
(資産の部)		
流動資産	35,306	38,573
固定資産	69,328	73,748
有形固定資産	63,617	67,435
無形固定資産	706	462
投資その他の資産	5,005	5,851
⑤ 資産合計	104,634	112,321
(負債の部)		
流動負債	40,982	41,501
固定負債	26,429	34,104
負債合計	67,412	75,605
(純資産の部)		
株主資本	36,484	35,832
資本金	9,696	9,696
資本剰余金	10,960	10,960
利益剰余金	15,852	15,200
自己株式	△24	△25
評価・換算差額等	176	330
その他有価証券評価差額金	207	371
為替換算調整勘定	△31	△41
少数株主持分	561	553
⑥ 純資産合計	37,222	36,716
負債純資産合計	104,634	112,321

Point

震災の影響を受けた営業所建物やレンタル用資産(建機等)の罹災額の損失計上を第3四半期だけでは穴埋めできず前年同期比93.7%減となりました。

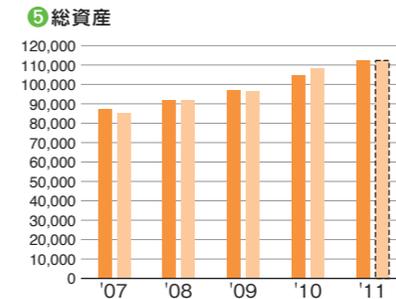
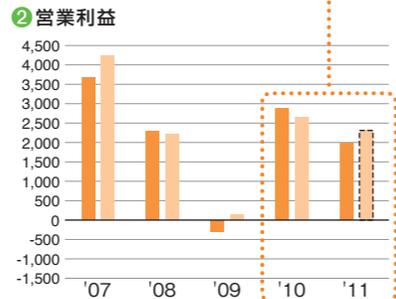
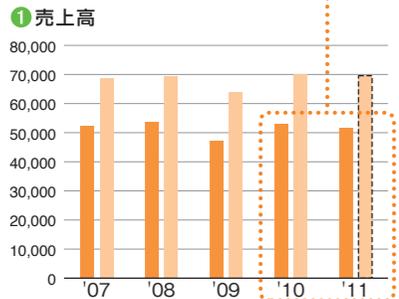
とってもいいモノ 読者プレゼント

今号のプレゼントは、当社のオリジナルダイアリー手帳2012年版です。巻末のアンケートハガキをご返送いただいた方の中から、抽選で30名様にお贈りします。当社ロゴを織り込んだHPアドレスを表面に、カナモト坊やを裏面にエンボス加工した手帳カバーは水に強い塩ビ製。オーストリッチ風に仕上げているから手触りも良好です。中面も機能性にこだわり、2週間分のスケジュール欄を見開きにした前半部分、そしてデータ野の引かれた集計表タイプのメモページをたっぷり設けた後半部分という構成となっています。使い勝手のよい一冊を、どうぞ来年のスケジュール管理にお役立てください。



ご応募の締め切りは11月11日(当日消印有効)です。なお、当選の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。

■ 第3四半期 ■ 通期 ■ 予想値 単位:百万円



■ 第3四半期 ■ 通期 ■ 予想値 単位:百万円



株主様からのご質問に答える

Q & A コーナー

いつもアンケートハガキをご返送いただきありがとうございます。皆様から頂戴したご質問にお答えするのがこのQ&Aコーナーです。
ご意見、ご要望がございましたら、巻末のハガキにご記入のうえ、ご返送ください。

Q 配当金の振り込み指定をゆうちょ銀行または郵便局にすることはできますか？

A はい、できます。
ゆうちょ銀行口座へ振り込みを指定する場合は、株式を預託している口座管理機関（証券会社等）へお申し出ください。

口座指定のお手続きが完了するまでの分につきましては「①口座入金払」と「②銀行取扱期間終了後の送金払」があります。

①口座入金払の場合は銀行取扱期間終了日の3営業日前までに配当金領収証をゆうちょ銀行または郵便局の窓口にお持ちいただくと、口座入金払いで受け取れます。

②銀行取扱期間終了後の送金払の場合は送金方法指定欄のゆうちょ銀行現金払をご指定いただき、配当金領収証の表面に株主様のご印鑑を押印のうえ、記載の株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）にご送付ください。

お問い合わせは、下記フリーダイヤルにお願いいたします。☎

三菱UFJ信託銀行(株)証券代行部(配当係) 0120-232-711 (通話無料)

配当金領収証(見本) (表)



(裏)



株価チャート (週足)



株価および売買高 (東証分のみ。単位：円、出来高は千株)

	始 値	高 値	安 値	終 値	出来高
2010年 9月	434	463	429	457	785
10月	459	460	394	417	3,428
11月	418	445	399	443	2,021
12月	440	449	417	437	1,679
2011年 1月	441	444	410	417	926
2月	418	462	416	461	1,059
3月	465	658	459	633	5,390
4月	629	630	563	599	4,477
5月	600	609	517	559	2,254
6月	560	596	511	595	2,032
7月	597	612	586	598	1,307
8月	601	601	488	508	1,875

株主メモ (2011年4月30日現在)

資 本 金	96億9,671万円 (払込資本金)
発 行 株 数	32,872千株 (発行済株式の総数)
事 業 年 度	11月1日から翌年10月31日まで
株 主 総 会	毎年 1月中
同総会議決権行使株主確定日	毎年 10月31日
期末配当金受領株主確定日	毎年 10月31日
中間配当金受領株主確定日	毎年 4月30日

公 告 の 掲 載 当社ホームページ、日本経済新聞*

*当社公告の掲載につきましては、当社ホームページに掲載いたします。
ホームページのURLは下記のとおりです。

<http://www.kanamoto.co.jp> または <http://www.kanamoto.ne.jp>
なお、やむを得ない事由により、ホームページに公告を掲載することができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
同 事 務 取 扱 場 所 三菱UFJ信託銀行株式会社
証券代行部
東京都千代田区丸の内1丁目4番5号

同 郵 便 物 送 付 先 三菱UFJ信託銀行株式会社
及 び 電 話 照 会 先 証券代行部
〒137-8081
東京都江東区東砂7丁目10番11号
電話 0120-232-711 (フリーダイヤル)

株式に関する各種お手続きについて

- (1) 株主様の住所変更、配当金の振込みのご指定、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- (2) 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- (3) 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

● 編集後記 ●

第3四半期決算に合わせて業績修正を発表いたしました。退職給付制度の変更に関する部分が多いのですが、勿論、震災による部分もあります。災害があれば当社への需要が高まるのは、まるで桶屋のように心苦しい限りですが、これが当社の主力事業ですので、誠心誠意取り組んでいかねばなりません。その「誠心誠意」を表紙にしてみました。当社の技術スタッフは487名、グループでは600余名を数えます。全国の拠点の技術スタッフひとりひとりが、40万点にもぼる建機を整備しています。小誌特集ページに掲載したとおり、建機レンタルは今や、建設会社にとって、機材調達部門としてなくてはならない存在でもあります。彼ら技術スタッフの日々の努力があるからこそ、建設会社に満足いただける性能が発揮できるのです。加えて、国内でのレンタル供与期間を終えた当社の建機が、中古建機として海外に売却される際に、他社よりも高く取引されているのも、技術スタッフの日々の整備があつてのこと。
ということでカナモトは、ウルトラマンに出てくる科学特捜隊と言ったところでしょうか。格好つけ過ぎちゃいました。だけど、皆様に応援いただいているのでもの、これからは震災、豪雨災害、原発対応に役職員共々頑張ります。☎

バイオガス発電推進協議会を設立しました

News Headline

環境保全の気運の高まり、そして東日本大震災の影響で電力不足が深刻化するなか、「再生可能エネルギー」に高い関心が寄せられています。以前から当社が導入支援を行っている「バイオガス利用マイクロガスタービン発電システム」も、その再生可能エネルギーを活用したもので、下水や生ゴミ、家畜糞尿など“廃棄物”の処理過程で得られるバイオガスを発電に利用するという、環境にとってもやさしい発電システムです。このバイオガス発電をさらに普及させるため、先般、当社を含む関連事業者・開発者・学識経験者によって「バイオガス発電推進協議会」が設立されました。当協議会は企業間の情報交換の活性化や導入推進を図るとともに、導入施設を検証・評価して国や地方自治体に報告する役割も担っています。なお、下記のとおり当社ニュープロダクツ室が当協議会の事務局を務めております。



当社が代理店になっている米国キャブストーン社のコージェネ・マイクロガスタービン発電機。これらバイオガスを利用した発電システムは、自然状況に左右される太陽光発電や風力発電にくらべて、より安定的な電力供給が可能と注目されています。

バイオガス発電推進協議会事務局

株式会社カナモト ニュープロダクツ室内

所在地：東京都港区芝大門1-7-7 電話：03-5408-5605

ホームページ：<http://www.biogascouncil.com/>